

# コスモス ニュースレター EMC & 安全

## Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2025-01-01 No. 171

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

### コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary .....	2
IEC: 規格解説: CISPR 36 Ed. 1.1 電気およびハイブリッド電気道路車両 – 無線妨害特性(1/3) .....	3
IEC: 新規格リスト .....	6
ISO: 新規格リスト .....	11
国際テーマ: UNECE: 車両規制調和世界フォーラム第 194 回会合報告書(1/3) .....	12
国際テーマ: UNECE: 国連規制第 10 号 – 改訂 6 – 修正 3 発行: 付属文書 1 承認マーク項の修正 .....	14
国際テーマ: IEC アカデミー: IoT のサイバーセキュリティの各種要件に関する最新情報 .....	16
国際テーマ: マラウイの電子機器に関する承認要件: 証明ラベルの貼付を義務付け .....	17
国際テーマ: フィリピンの通信機器規制: 5925~6425 MHz 帯の通信機器型式検定規制を改正 .....	17
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲 .....	18
USA: FCC: 6 GHz 帯域全体を超低電力デバイスに開放: ウェアラブル技術等への利用を促進 ..	19
USA: FCC: 高度道路交通システム用 5.9 GHz 帯: DSRC 技術から C-V2X 技術への移行を確定 ..	19
USA: FCC: KDB: 質問: 携帯電話機の補聴器両立性に関する機器認可要求事項は? .....	20
USA: FCC: KDB: ワイヤレスマイクロホンの承認のために従わなければならない手続きは? ..	21
USA: FCC: KDB: 送信機モジュールデバイス等に関する FCC のガイダンスは? .....	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知 .....	22
USA: ANSI/UL: 新規格リスト .....	22
USA: IEEE: 新規格リスト .....	24
カナダ: RABC: SRSP-511 第 3 版(案) – 陸上移動無線サービスの技術要件: 意見募集 .....	25
EU: 新しい製造物責任指令が 2024/12/8 日に施行: 欠陥製品による損害に対し補償が可能に ..	27
UK: 低電圧機器に関する指定規格の変更案が発表: EN IEC 61851-1:2019 関連等 .....	27
EU: CENELEC: 新規格リスト .....	28
EU: ETSI: 新規格リスト .....	35
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト .....	35
ニュージーランド: 中リスクと高リスクの電気機器の規制承認関連通知を廃止する時間計画 ..	37
中国: SAMR: 電気自動車用給電機器への強制性製品 CCC 認証管理の実施に関する公告 .....	38
中国: CNCA: 電線アセンブリの強制性製品 CCC 認証規格の変更に関する公告 .....	39
中国: CQC: ダブルエンド LED ランプの安全及び電磁両立性の認証規則を改訂する通知 .....	39
中国: 新規格リスト .....	40
台湾: BSMI: 検査対象の電力変換システム商品の関連検査規定を制定、即日施行 .....	42
台湾: BSMI: 検査対象の据置型リチウム蓄電装置の関連検査規定を制定、即日施行 .....	43
台湾: BSMI: 検査対象の一般家庭用電気機器商品の関連検査規定改正案の通知 .....	43
台湾: 新規格リスト .....	43
韓国: 「航空業務用無線設備の技術基準」一部改正 (案) 行政予告 .....	44
韓国: KS 新規格リスト .....	45
総務省: 第 5 世代移動通信システム(5G)の高度化(RedCap/eRedCap)に関する技術的条件等 .....	45
総務省: 吸収電力密度の許容値の導入等 – 無線設備規則等の一部を改正する省令案答申 – .....	45
総務省: WRC-23 における 無線通信規則の改正に対応し、電波法施行規則の一部を改正 .....	47
総務省: 搬送ロボット用ワイヤレス電力伝送システムの導入等のための制度整備 .....	47
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2024 年 12 月分) .....	48
経済産業省: 子供を含む消費者の安全のため、玩具やガストーチへの新たな規制を導入 .....	49
国土交通省: 自動車基準認証の相互承認がアジア地域で更に拡大! ~カンボジアが参画~ .....	49
国土交通省: 保安基準に適合した電動キックボード等を購入・使用しましょう! .....	50
ちょっといっぷく~小クイズコーナー マラウイの通信機器の承認マーク .....	18
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内 .....	26
社長の独り言 .....	51



**IEC: 規格解説: CISPR 36 Ed. 1.1 電気およびハイブリッド電気道路車両 - 無線妨害特性(1/3)**

- CISPR 36 Ed. 1.1(2023-05) 電気およびハイブリッド電気道路車両 - 無線妨害特性 - 30 MHz 未満の車両非搭載受信機の保護に対する限度値と測定方法。本 CISPR 36 版 1.1 には、第 1 版(2020-07)と、その修正 1(2023-05)の内容が含まれている。  
**適用範囲での変更:** 車両から 10 m の距離の位置にある車両非搭載受信機を保護するための車両からの (150 kHz から 30 MHz の周波数範囲の) 最大放出の限度値を規定する。電気車両およびハイブリッド電気車両の駆動源は、従来は「トラクションバッテリー」と称していたが、本改訂 A1 により「再充電可能なエネルギー貯蔵システム」に変更された。 等々

**国際テーマ: UNECE: 車両規制調和世界フォーラム第 194 回会合報告書(1/3)**

- UNECE: 車両規制調和世界フォーラム第 194 回会合報告書が発行  
 報告書 ECE/TRANS/WP.29/1181 2024 年 12 月 11 日  
**B. 1958 年協定管理委員会 (AC.1)**  
 XV. 既存の規制の修正および訂正案と新しい規制の提案  
 提出された文書に対する投票の結果は、1958 年協定の第 12 条の手続き規則および改訂 3 の付録に従って、次の表のとおりである。  
 現行規制への修正(ここでは抜粋したもののみを以下に表を提示)

規制番号	規制の主題名	文書のステータス
0	国際的な車両認証制度 IWVTA	07 series
10	電磁妨害抑制装置 Electromagnetic compatibility	07 series
171	ドライバー コントロール アシスタント システム Driver Control Assistant System	Supp. 1 to the original version
[175]	ペダル エラーに対する加速制御 (ACPE) Acceleration Control for Pedal Error (ACPE)	-

**USA: FCC: 高度道路交通システム用 5.9 GHz 帯: DSRC 技術から C-V2X 技術への移行を確定**

- FCC は、5.9 GHz 帯の C-V2X 技術への移行を確定し、安全で効率的な道路交通を促進する最終規則を発表した。既存の専用ショートレンジ通信(DSRC)に基づく技術からの移行である。

**EU: 新しい製造物責任指令が 2024/12/8 日に施行: 欠陥製品による損害に対し補償が可能に**

- 本指令では、対象範囲が従来の製品からデジタル製品や AI システムにまで拡大され、さらに EU 外で製造された製品やオンライン販売される製品にも拡大されている。

**中国: SAMR: 電気自動車用給電機器への強制性製品 CCC 認証管理の実施に関する公告**

- 2025 年 3 月 1 日から、電気自動車用給電機器の CCC 認証申請の受付が開始される。

**総務省: 吸収電力密度の許容値の導入等 - 無線設備規則等の一部を改正する省令案答申 -**

- 人体の近くで使用される無線設備が発射する電波から人体を防護するための指針値及び評価方法についても、適切な人体の防護を確保する必要がある。
- このため、情報通信審議会において諮問第 2035 号「吸収電力密度の指針値の導入等」について一部答申がなされ、6 GHz を超える周波数帯に対して吸収電力密度による指針値を適用することとされた。これらを踏まえた制度整備を行う。

新年のご挨拶を申し上げます。昨年は能登半島の災害、夏季の極暑などで多くの方々にご辛苦に見舞われました。心からお見舞い申し上げます。今年こそ皆様及び所属企業におかれ幸多い年でありますようお願い致します。

「コスモス ニュースレター EMC & 安全」は、2009年8月の発行開始以降今号で第171号になりました。これまで皆さまから頂きましたご支援 ご愛読に心から感謝致します。本年もより充実した内容を目指し、意気新たに取り組む所存です。コスモス Web サイト (<http://www.safetyweb.co.jp/>) のコスモス・ニュース共々御活用ください。皆様のいっそうのご愛顧、ご鞭撻をお願い致します。

お知らせ

2025-02-01 付け発行は休刊です。次号は 2025-03-01 付け No. 172 号と致します。ご了承ください。

## IEC: 規格解説: CISPR 36 Ed. 1.1 電気およびハイブリッド電気道路車両 – 無線妨害特性(1/3)



### Summary

CISPR 36 Ed. 1.1(2023-05) 電気およびハイブリッド電気道路車両 – 無線妨害特性 – 30 MHz 未満の車両非搭載受信機の保護に対する限度値と測定方法。本 CISPR 36 版 1.1 には、第 1 版 (2020-07) と、その修正 1(A1) (2023-05) の内容が含まれている。

#### 1 適用範囲

車両から 10 m の距離の位置にある車両非搭載受信機を保護するための車両からの (150 kHz から 30 MHz の周波数範囲の) 最大放出 emission の限度値 (3 m の測定距離における) を規定する。電気車両およびハイブリッド電気車両の駆動源は、従来は「トラクションバッテリー」と称していたが、修正 1(A1) により「再充電可能なエネルギー貯蔵システム」に変更された。

#### 4 放射妨害の限度値

車両は、準尖頭値検波器の磁界強度限度値に適合すること。但し、時間節約のため、最初に尖頭値検波器による事前スキャンを実行し、それが準尖頭値検波器の磁界強度限度値に適合すればそのまま合格とすることができる。

#### 5 測定方法

##### 5.1.1 測定受信機

測定受信機 (FFT ベースの測定機器を含む) は、CISPR 16-1-1:2015 の要件に準拠すること。

##### 5.2 測定サイトの要件

###### 代替試験サイトの要件

代替試験サイトは、吸収体で覆われたシールドエンクロージャ (ALSE) とオープンエリア試験サイトである。その周囲磁界要件として、周囲騒音レベルは、条項 4 で規定されている妨害波の限度値より少なくとも 6 dB 低いこと、または、車両(この文書で規定されているとおりに動作させ)からの放出と周囲雑音の組み合わせは、本規格の限度値に適合すること。

##### 5.4 試験対象物の条件

「推進 "Propulsion"」モードの動作条件：電気車両またはハイブリッド電気車両は、負荷をかけないでダイナモメーター上で、または非導電性のアクスルスタンド axle-stands 上で、電動モーターのみで駆動される状態で試験すること。

付属文書 A (~~規範的~~、~~参考的~~)測定計装の不確かさ

本付属文書 A は、この文書で説明されている測定方法に対する測定計装の不確かさを評価する



株式会社コスモス・コーポレイション

## 自動車部品の耐水試験についてのご案内

**当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。**

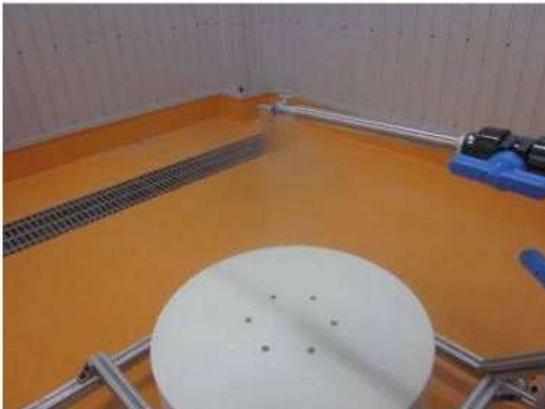
**(JIS D 0203 対応)**

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

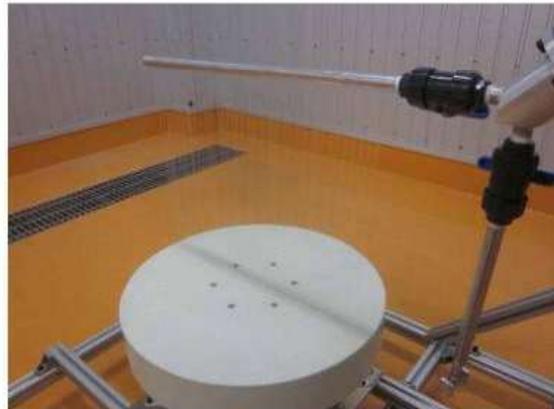
### 評価実施内容

散水試験	R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験
	R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
噴水試験	S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
	S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験

### R1 及び R2



### S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : [www.safetyweb.co.jp](http://www.safetyweb.co.jp) E-mail : [sales@cosmos-corp.com](mailto:sales@cosmos-corp.com)

【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレイション

## 社長の独り言

2025年1月1日  
濱口慶一

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新年早々の能登での地震での災害や、復興も途中なのに大雨による災害など、能登地方の方々には非情な試練が与えられた年でした。政治の動きから復興への道筋もまだ見えていない中、被災した方々の心情を思い、心からお見舞い申し上げます。

私にとっての2024年の製品安全評価・認証活動は、電気用品調査委員会への参加が認められ、多くの方々と製品評価・認証に関して議論する機会があり、有意義でした。現在の監督省庁の方々は2011年の弊社への行政指導に関する私の見解を理解されているようです。人生の終活として、私が見聞き、体験したことを後世の関係者に残しておきたいとの発言に、賛同のお声もいただきました。今まで腹の底に収めていたことをすべて言えたので、今後は横にいる弊社の担当者が訪問しますからよろしくお祈りしますと伝えたところ、ぜひまた来ていろいろな話を聞かせてくださいとのお言葉をいただきました。よい関係が構築できたのではと感じています。特に電気用品調査員の中に“事故調査委員（仮称）”が創設されたと報告があり、いち早く手を上げたところ、快く参加が認められました。

そんな中で、国立大学長岡科学技術大学技術経営研究科の三上良貴教授が残してくれた“安全マネジメントの歴史を歩く”を再度読みなおし、私の製品安全評価・認証業務から得た経験と知識を活用してもう一度、製品評価・認証業務の見直しを関係者の方々に提案していくことを終活の一部にしたいと決意する次第です。

見直しを提案する理由：

1. 製品評価・認証に使用する規格が、その規格を作る時点で対象製品の大きなリスクをどのように解決して、製品化するかが明確でないことが多いように思います。  
昔、某社（PC製造会社）の製品安全担当者から、その会社はリチウム電池を使わないことを会社の方針と決定したと聞きました。リチウム自体が水分で発火する性質をどうすれば安全に封じ込められるかの議論が少ないまま今の規格が出来ていて、リチウム電池の事故が減らないのではと私は見えています。
2. また電気トースターの食パンが飛び出ない際に子供がナイフやホークを使って引き出す行為で感電する事故も多発しました。このようなリスクが製品規格の作成時に十分に考慮されずに規格が発行されたのではないかと今となっては疑念があります。

そのような、現在世の中に存在する多くの製品安全規格を、もう一度リスクアセスメントの観点から見直し、使用者や関係者の生命と財産に危害を加えない、そして使用者の安心・安全に配慮した規格であるか否かを審査する、そして、不備があれば規格自体を改良・改訂するグループを創設する時期だと思っております。

大戦後、日本の素晴らしい技術者たちはたくさんの電気製品を世界に送り、現在の生活水準の向上と文化の発展に大きな役割を担ってきたと思います。生産拠点の移転という形で労働工賃の低い地域への移行が進み、日本国内での生産は減少しつつあると言えますが、大戦後の日本の工業の発展を支えて来た技術者のみなさんはまだまだ活躍されていると思います。その方々の知識・経験をどうか製品安全の評価・認証の現場に活かしていただきたいと思っておりますし、77歳を迎える私自身も今までのノウハウをなんとかして残したいと思う一心です。

今年は可能な限り関東地区にいて、関係者の呼び出しに即対応できる体制で臨みたいと考えています。そしてできるだけ早急に一般社団法人の組織を構築し、技術者を集め、リスク分析の甘かった規格の改訂提案グループに成長させ、“国民へのより安心・安全配慮に”少しでも貢献したく思います。そして日本で民間唯一のNCBであるコスモスの認証製品カテゴリーの拡大と、ISO 17021に沿った社員教育で、倫理的行動の取れる製品安全技術者を育成し、1000年企業へのスタートの年にしたいと思っております。

皆様のご指導、ご鞭撻を伏してお願い申し上げます。

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで [Yamashita-jun@cosmos-corp.com](mailto:Yamashita-jun@cosmos-corp.com)  
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

### コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2025-01-01 (No. 171)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2025 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。